

項目	意見・要望	年齢	性別
教育	多くの人が活躍できるのも大事だが、一人一人の能力向上にも力を入れていくべきだと思う。その中で、大学生の藤井さんの話は非常に共感できた。勉強のための勉強ではなく、社会で生きていくための勉強が必要だと思う。政府が家庭の教育にもっと介入してもいいのかもしれない。	30代	男性
	学生の藤井さんがお話していた、日本の学生はテスト・学位取得のために勉強しているというご意見は、とても共感しました。僕が大学入試の際も偏差値一覧表を見て、行けそうな大学に行くという考え方の友達が多くいました。学校で自主的に自分の夢を考える時間を設けるべきだと思います。	20代	男性
	モラルアップする、社会に貢献できる人材育成が大切。本日は問題意識をもっておられる方々の話を伺って良かった。政府と民間と国民の個々人が、三者で良くしていくことが重要だと思う。	60代	男性
	少子高齢化は「結婚する世代」の「雇用への安心感のなさ」に起因する。結婚生活の不安(特に女性から男性への)原因です。この世代の労働収入の安定策と高等、中等教育の無償化が先だと思います。自民党の施策はこの全てを逆行させています。その中このテーマを取り上げた真意を明らかにするべきです(困っていることは何なの?)	40代	男性
	高校・大学の時に夢とか目標を持つことが大切という話になりましたが、それが全て正しいとはいえない。目標のとおり職に就けるわけでもない。それよりも、もっと柔軟な考えがもてる教育・指導が大切。	70代以上	男性
	相対的に弱い立場の人が仕事を行うには組織に余裕が必要です。「周りを頼ってね」と言われても相談する気にならない人ばかりでは。社会人になってから教育制度(ビジネススキルだけでなく、心理面でも)の充実が必要だと思います。	30代	女性
	将来を見据えることができる教育制度が大事。職業教育の重要性。古い学校制度の打破。	60代	男性
	人材の育成。他省との連携をとってほしい。	40代	男性
	国立大学の無償化!	10代	男性
	奨学金の給付を増やしてほしい。また返還が困難な人に免除ということをさらに積極的に行えるような施策を求める。	30代	男性
	・ 移民政策を実施実行してほしいです。 ・ 女性の理系教育を強化してほしいです。でないと賃金差は埋まらない。	30代	女性
	現在の日本の政策は、過去の政策が実体に合わず、様々な歪みが生じています。憲法で法の下での平等を国家は義務付けられているにも関わらず、実体は地方や高齢者に偏重しています。一票を正しく一人一票の重さにする、高齢者を若者が支えるのではなく、支えられる者が支えるようベーシックインカムを導入と年金の廃止。そういった一人一人を等しく扱うように変えるべきです。貧困者への増税対策としても有効です。また子供を増やす時に、最も問題となるのが高額な教育費です。家計ばかりに依存する公教育の問題が、少子化、低成長、社会福祉の負担増などの原因の一つです。高校卒業までは少なくとも無料で、大学を安価に教育を受けられるようにすべきです。教育の受益者は生徒ではなく社会です。	40代	男性
	家庭での育児も「活躍」だと思うのですが、そのような女性への職業訓練や保育園の整備に多額の税金を投入してまで働かせようとすることに違和感を覚えます。社会全体で考えるもっと他の労働力(子を持つ母親でなく、高齢の方々やハンディキャップのある方も働きやすくする)を活用する方向に進んでほしいです。そのためには義務教育・高等教育を通じて、強い日本人を育てて欲しいです。教育にこそ、もっと力を入れて欲しいです。	40代	女性
	国の全体の問題ですが、例えば少子化の家には①男子32歳以上、自衛隊3年入隊とか。②国会議員から村会議員に至るまで、給料以外にもらう。政治活動費は全廃する。(7月の選挙前に)③大学の授業料を半分に。若者がローンに追われてまともな生活ができない。	70代以上	男性
“夢”をみつけられるために、子供たちにもっと社会をみせてあげてください。ニュースもカバーがありすぎます。	20代	女性	

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」（一億総活躍社会実現対話・大阪 アンケート結果）

項目	意見・要望	年齢	性別
教育	ニートや非正規雇用者（特に男性）が人選されていなかった点については、明らかに“総活躍”の対策が“女性の仕事と家庭の両立”に強く偏ったものになる心配があります。男性ニートもたくさんいます。男性ニートの方の正規雇用についての対策も推進してください。総活躍できる人材を育てるには、教育が肝要です。働き方の改革と共に、日本の教育をしっかりと見直してください。	50代	女性
若者	若い人が夢を持ってない。なんとなくの回答は良くない。文科省、一億活躍共に推進し、意欲を引き出すべき。	70代以上	男性
	少子化対策として結婚に対する希望や憧れ、期待を持ってない若者が増えています。婚姻率の向上、離婚率の減少のためにも結婚生活に対する学びが必要であると思われます。社会の基礎の基礎である夫婦、家庭の重要性の認識を深める事が必要であると思います。	40代	男性
	働く意思がありながら働けない人々のための環境整備ももちろん大切ですが、働けるにもかかわらず働く意思を持たないために働かない人々に対する施策が急務だと思います。特に若者への働く動機付けは、国をあげて実施すべきだと思います。	20代	男性
	次世代を担う学生が多額の奨学金を背負って社会にデビューする。子育ては一体いつまでと考えているのか、矛盾が多い。社会保障費のためだけに、労働力を必要としているところ。露骨すぎる！！また、派遣法が改正させて企業は3年後の雇用を見直すより、別の形で準備をしている。派遣切りをルール化しているようにも感じる。格差の是正！	40代	女性
	18才から選挙権を持つようになり、16才から社会で働く若者もいます。10代の意見も聞いてみては。	40代	男性
	少子化をくいとめるために必要なこととして、古くなった団地を活用する。3LDKのマンションを購入して育てられるのは2人くらい。住む場所が広ければもっと子どもが産めるのに、という声をよく聞いた。子育ての期間は安い公団（広くリフォームされた）に若い夫婦が自ら希望して入るような世の中になれば良いと思う。また教育にお金がかかりすぎることも大問題。低所得者、特にブルーカラー（労働者）の人たちの給料が上がるようにしてほしい。カナダでは電気工事のひとにちょっとした家の修理を頼んだら、1日で8万円ほどかかるという。そのくらいブルーカラーの賃金は高く認められている。日本は低すぎます。	40代	女性
	若者が夢を持っていないという指摘に関して、入試制度、就活など包括的に考え直す必要があると思う。	20代	女性
	少子高齢化は「結婚する世代」の「雇用への安心感のなさ」に起因する。結婚生活の不安（特に女性から男性への）原因です。この世代の労働収入の安定策と高等、中等教育の無償化が先だと思います。自民党の施策はこの全てを逆行させています。その中このテーマを取り上げた真意を明らかにするべきです（困っていることは何なの？）【再掲】	40代	男性
働き方	登壇者のように大手企業では時短勤務などがあるようですが、中小企業では絵に描いた餅のようなものです。中小企業の人にもそのような制度が利用できるように、企業任せでなく国の制度として実行してほしい。中小企業で働いている人も「日本人」として見てほしい。ただ「安い労働者」として扱われているのが現状です。「税金を負担するだけの存在」ではないのです。	30代	女性
	高齢者、女性、障がい者の働く場の提供。自立して暮らせる社会へ。非正規労働者の老後の不安の払しょく。	40代	女性
	保育については保育サービスの改善も必要ですが、休業制度の法改善もお願いします。休業期間1年→2年、パパも交代で休む時の優遇手当など。	30代	男性
	派遣社員など非正規雇用を選択した人も正社員と同様に結婚、出産できるようにしてください。国会議員や地方議員の出馬の際に必要な供託金を廃止にしてください。派遣社員の派遣契約終了後、1ヶ月は休業補償を派遣会社に義務付けるようにしてください。	20代	男性
	出産後の職場復帰に対する企業理解、長時間労働を抑制するための具体的な制度設定。	20代	女性
	非正規の人が多すぎるように思う。特に公務員などの社会では正規職員が少ない。経費の削減という言葉に目を奪われて大きな観点がが見失われている。	70代以上	男性
	政府が援助してくれればありがたいと思っています。非正規雇用が多いので生活が苦しい。アルバイトで生活するのは苦しい。	40代	男性

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」（一億総活躍社会実現対話・大阪 アンケート結果）

項目	意見・要望	年齢	性別
働き方	・高齢者雇用継続について→現状「希望者全員継続・再雇用」が努力義務でしかない。一定規模以上（301人以上）は義務規定は（罰則つき）とすべき。・女性の雇用（パートタイマー）について→不当に低い賃金となっており、一旦正社員のキャリアを断たれると時給1,000円に満たない職にしか就けない場合がほとんど。・130万の扶養家族→106万にする前になぜ収入を下げて働かざるを得ないのか？という現実をしっかりと調査すべき。・女性の賃金差別について→同一労働同一賃金を徹底させてほしい。301人以上規模の企業は少なくとも義務化へ進めてほしいです。	30代	女性
	高度経済成長の時のようにたくさん働けばその分結果が出るという時代は終わったと思う。これからはいかにして仕事とプライベートにバランスをとるのが重要になってくるかと思う。組織として「働き方」について考えていかなければならないと思う。	20代	女性
	法整備のみでなく、守られるようにしっかり推進をお願いしたい。労基法さえ守られていない会社も多い（労働時間改善について）。	50代	男性
	教育構造の大幅な改革、日本国人が対外政策の捨て石とならぬよう、社会に貢献できる一億総活躍社会を実現していただきたい。ピンチをチャンスに変えられる、将来の夢をかなえられる道筋を描ける社会環境の構築、職場環境の改善、様々な生活環境に応じたワークスタイルの実現を期待する。	40代	男性
	極力正規社員の割合を増やしていければ良いことはわかっているが、さて、どうすれば・・・。	60代	男性
	今回発表された方々は、ほとんどがうまくいっている成功者の発表であり、このようにうまく就労（仕事）している人はほんの一握りの人である。もっと働きたいのに働けない人の声を発表できるようにしてほしい。また、日本の勤務形態が構造的に非常に大きな問題（長時間労働）がある。ワークシェアなどの制度を法制化し、より多くの人が働ける社会を目指し、長時間労働国の汚名をはらしていかなければならない。	60代	男性
	50代の両親が共働きで長時間労働です。20代の私が仕事をしながら家事全般を引き受けています。私自身も転職をしたため収入が少なく、独立することが困難です。若い人や子育て世代へ手厚い支援も必要ですが、定年前の世代にも支援をお願いします。親世代に余裕がない限り若者は安心して自立できません。	20代	女性
	オランダ型の働き方、社会保障の導入を！男0.75、女0.75で計1.5の所得を得ながら、週12時間以上の非正規雇用の賃金に差を設けないという。食べて文化的な生活ができる憲法25条の権利を、社会保障として明確にすべき。	60代	男性
	多様化に対応できるよう、法律の枠組みの中で会社の制度を工夫して整備していきたいと思います。	40代	女性
	働くことのできなかつた人が働ける社会の実現は、一部の働きすぎの人々の労働時間短縮にもつながると考えます。そのためには、これまで働きすぎだった人の賃金の低下もやむを得ないと考えます。	50代	男性
	働き続けたいが、子育てや介護との両立に不安が多いです。子どもや高齢の方々の目線でも充分満足でき、働く現役世代にとっても働きやすい制度や施設の充実を希望します。出生率向上のため、出産も希望しているができない状況で、そういった部分にも利用しやすい支援が欲しい。	30代	女性
	・最低賃金を上げてほしい。「労働者全体の待遇を上げるために」 ・経営者の顔色を見ながら会社で働いている人が多いので、サービス残業や労働規約の取り締まりを強化してほしい。 ・障害者の農業従事促進は、不和に感じる。なぜ農業なのかかわからないと、農業にも障害者にも理解が深まらないまま進めているように見える。 ・男性の育休の話は流れてしまいましたが、引き続き取り組んでください。	30代	女性
	ブラック企業、ブラック社員。お互いが疑心暗鬼になっている。このマインドをどうにかしたいです。	30代	男性
自宅で働いて生活できる仕事を国が創ってほしいと思います。活躍するためには、将来の生活に対する不安をなくすることが先です。生活保護の現行制度が機能しなくなる前に、持続可能な生活を保障する制度が必要だと思います。創ることに競争は不要です。協同と協調を軸として、国民のネットワークバランスよく創って下さい。宜しくをお願いします。	50代	男性	

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」（一億総活躍社会実現対話・大阪 アンケート結果）

項目	意見・要望	年齢	性別
働き方	政府が考える“一億総活躍”している社会のビジョンやイメージが不明瞭。一体誰のための施策で、誰を幸せにしたいのか？どうなったら一億総活躍したと言えるのか、具体的な未来の姿を示してほしい。女性活躍推進という言葉とイメージだけが先行して、政治家の女性観、職業観が現状と乖離しており、思い込みで実態は把握できていないと思います。私は非正規シングル女性です。キャリアアップ支援にも、ママの再就職にも当てはまらず、時代と法律、日本型雇用に翻弄されて、活躍の機会を与えられない優秀な人が多くいることにも気づいて頂き「同一価値労働、同一賃金」の実現といくつになっても仕事を通して、自己実現できる機会のある社会を目指して行動してほしい。就労支援をするキャリアコンサルタントが有期雇用で不安定。にも関わらず他者の就職をサポートするもどかしさ。女性活躍推進に関して：一握りの女性になっていませんか？女性を男性化させることが女性の活躍ですか？一人一人の働き方・価値観に沿って、自由に選択できる環境を。人格を無視した働き方になっていないか？女性優位となる（調和・融合）社会を作るためには、大きなパラダイムシフトが重要。（過去の価値観を捨てる時期）	40代	女性
	今後の日本を支えるのはやはり若い世代を中心とした日本人であるべきであり、外国人ではないと考える。多様性を容認し、日本人全員が働き、活躍する社会を実現すべく、今後取り組みを加速すべきと考えます。	40代	男性
	子ども、シニアもそうですが、「働いていない若年層」への支援も重要だと思います。	20代	女性
	[結婚に至る機会の少なさ]について。1も2も若者の雇用安定に限りませう。 [介護に関する事項] 処遇改善しか良くなる事はないのではないかと。きたない給料が安い等、3Kが無くなることを希望します。	70代以上	男性
	高齢者、障がい者、非正規社員だけでなく、正社員、若者が今以上に活躍することでGDPをUPさせ、先にあげた人々ももっと活躍できる社会を作っていく、といった発想も必要と思った。過去最高の企業収益といっても、ほぼ為替の影響によるものなのでは？もっと根本的な改善をしなければダメ。	30代	女性
	男性、女性、高齢者、障害者問わず、働けるといふ事はありがたい事、生きる力、生きる喜びを持つ為にその働く場所を多く提供して頂きたいです。時間的には少し短かすぎたのではないかと？	60代	女性
	雇用における年齢差別をなくすべき。それにはまず国や地方公共団体が先頭に立つて行くべきであり、雇用対策法10条を国や地方公共団体に適用させるべき。民間企業も抜け道を使って悪用しているの、10条違反について罰則や企業名公表の明文化をすべき。	50代	男性
	就職の年齢差別をやめるべきです。まずは外務省などの国家公務員から始めてははいかがでしょうか。	30代	男性
	少子化をくいとめるために必要なこととして、古くなった団地を活用する。3LDKのマンションを購入して育てられるのは2人くらい。住む場所が広ければもっと子どもが産めるのに、という声をよく聞いた。子育ての期間は安い公団（広くリフォームされた）に若い夫婦が自ら希望して入るような世の中になれば良いと思う。また教育にお金がかかりすぎることも大問題。低所得者、特にブルーカラー（労働者）の人たちの給料が上がるようにしてほしい。カナダでは電気工事のひとにちょっとした家の修理を頼んだら、1日で8万円ほどかかるという。そのくらいブルーカラーの賃金は高く認められている。日本は低すぎます。【再掲】	40代	女性
	次世代を担う学生が多額の奨学金を背負って社会にデビューする。子育ては一体いつまでと考えているのか、矛盾が多い。社会保障費のためだけに、労働力を必要としているところ。露骨すぎる！！また、派遣法が改正させて企業は3年後の雇用を見直すより、別の形で準備をしている。派遣切りをルール化しているようにも感じる。格差の是正！！【再掲】	40代	女性
若い人の就職市場の拡大、子どもをもつ主婦の働く環境の整備への取り組みを充実。そして敗者復活制度の確立をしなければ活力ある社会はできない。【再掲】	60代	男性	
ニートや非正規雇用者（特に男性）が人選されていなかった点については、明らかに“総活躍”の対策が“女性の仕事と家庭の両立”に強く偏ったものになる心配があります。男性ニートもたくさんいます。男性ニートの方の正規雇用についての対策も推進してください。総活躍できる人材を育てるには、教育が肝要です。働き方の改革と共に、日本の教育をしっかり見直してください。【再掲】	50代	女性	
格差是正	景気が良いと言われますが、今の日本は二極化されていると思う。貧困な生活を余儀なくされている国民に対しても対策を考えて、改善してほしい。30代、40代、50代の転職の改善をお願いします。	50代	男性

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」（一億総活躍社会実現対話・大阪 アンケート結果）

項目	意見・要望	年齢	性別
最低賃金	<ul style="list-style-type: none"> 最低賃金を上げてほしい。「労働者全体の待遇を上げるために」 経営者の顔色を見ながら会社で働いている人が多いので、サービス残業や労働規約の取り締まりを強化してほしい。 障害者の農業従事促進は、不和に感じる。なぜ農業なのかかわからないと、農業にも障害者にも理解が深まらないまま進めているように見える。 男性の育休の話は流れてしまいましたが、引き続き取り組んでください。【再掲】 	30代	女性
再チャレンジ	政策パンフレットで「一度失敗した人も活躍できる社会」とあるが、掛け声、スローガンだけでなく、政府の具体的な政策を伺いたい。アメリカの大統領候補トランプ氏は4回倒産したと言われている。日本は失敗した人に対する差別があり、アメリカとあまりにも異なる。	70代以上	男性
	若い人の就職市場の拡大、子どもをもつ主婦の働く環境の整備への取り組みを充実。そして敗者復活制度の確立をしなければ活力ある社会はできない。【再掲】	60代	男性
女性の活躍	女性が活躍できる社会を作るためには、女性だけが頑張るのにも限界があると思います。結局男性の意識改革がない限り同じです。	40代	女性
	女性が結婚、出産をしても同じ会社で働き続けられるように企業への働きかけ、サポートをお願いします。本日の登壇者の中で、切迫流産の可能性があり、やむを得なく退職したとおっしゃっていましたが、これが退職理由にならない社会にしていきたいです。	40代	女性
	育児も大切だが、資生堂のように制度を変える企業もある。どうしてそうなったかなどきちんと調べてほしい。保育所、時短、働きたいというばかりでなく、自己努力も必要。女性ばかりが目立っていて、若手男性がないがしろにされている。同じか、少しばかりの能力の差なら、女性が出世するというのは女性活躍の本質ではない。本当に有能な人に上司になってほしい。	30代	女性
	今の日本の方向性として、夫婦共働きが当たり前になっているが、本当に正しいのでしょうか？私は2歳の子どもと主婦の妻が家族ですが、この流れが進んでいくと、働かない主婦は非常に肩身の狭い思いをしていくことになる。1～2歳の子どもにとって、親と一緒に過ごす時間はとても大切です。保育園に預けられる子どもの気持ちを考えれば、とても不安でさみしいはず。小さい子どもは自分の気持ちを伝えられません。大人の理屈で女性の社会進出が進んでいけば、それだけさびしい思いをする子が増えていくことを今考えるべきではないでしょうか。	30代	男性
	一度に多くの問題の解決は難しいが、一つ一つ着実に進めてほしい。子育て問題を真に解決してほしい。国・地方の施策に女性の参加を。	60代	男性
	高齢者が社会で活躍できる仕組み、又「力」が発揮できる場を政治の力で創生されるように思う。女性が仕事ができる環境を整えることが大切。出生率を上げる前に、出産後の育児に対する助成を他の予算を削っても増額すべき。	70代以上	男性
	女性が出産後、社会に復帰する際、家族などの協力が必要と言われてました。男性は働くことは当たり前ですが、女性も働くことが当たり前の社会にしていきたいです。	30代	男性
	一億総活躍社会はメディアを通じて、よく耳にする言葉であるが、どのように進めていきたいのかビジョンが全くイメージできない印象が強い。特に“数字”だけが先行しているように見え、具体性に欠けているように思います。本当に“良くしたい”“何とかやり遂げたい”という思いがあるのならば、具体的に国民に理解しやすい言葉で説明して欲しいと思います。“女性活躍推進”正直プレッシャーです。職場において女性活躍の言葉をよく耳にしますが、まだ心の準備も気持ちも整っていないのに、“管理者を目指せ”と言われても心が折れてばかりです。もっと段階を踏んで取り組むべきではないでしょうか？数字だけを先に出す国の方針に疑問を感じます。 企業の取り組みに任せている印象あり。もっと国が関わってほしい。 様々な質問に対して答えが不明確な印象。特に保育所、待機児童の問題に対して、もっと具体的に挙げてほしい。会社内に保育施設を設けるなど、待機児童対策を具体的に考えて働く女性の環境を整えてほしい。	40代	女性
・高齢者雇用継続について→現状「希望者全員継続・再雇用」が努力義務でしかない。一定規模以上（301人以上）は義務規定は（罰則つき）とすべき。 ・女性の雇用（パートタイマー）について→不当に低い賃金となっており、一旦正社員のキャリアを断たれると時給1,000円に満たない職にししか就けない場合がほとんど。 ・130万の扶養家族→106万にする前になぜ収入を下げて働かざるを得ないのか？という現実をしっかりと調査すべき。 ・女性の賃金差別について→同一労働同一賃金を徹底させてほしい。301人以上規模の企業は少なくとも義務化へ進めてほしいです。【再掲】	30代	女性	

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」（一億総活躍社会実現対話・大阪 アンケート結果）

項目	意見・要望	年齢	性別
女性の活躍	政府が考える“一億総活躍”している社会のビジョンやイメージが不明瞭。一体誰のための施策で、誰を幸せにしたいのか？どうなったら一億総活躍したと言えるのか、具体的な未来の姿を示してほしい。女性活躍推進という言葉とイメージだけが先行して、政治家の女性観、職業観が現状と乖離しており、思い込みで実態は把握できていないと思います。私は非正規シングル女性です。キャリアアップ支援にも、ママの再就職にも当てはまらず、時代と法律、日本型雇用で翻弄されて、活躍の機会を与えられない優秀な人が多くいることにも気づいて頂き「同一価値労働、同一賃金」の実現といくつになっても仕事を通して、自己実現できる機会のある社会を目指して行動してほしい。就労支援をするキャリアコンサルタントが有期雇用で不安定。にも関わらず他者の就職をサポートするもどかしさ。女性活躍推進に関して：一握りの女性になっていませんか？女性を男性化させることが女性の活躍ですか？一人一人の働き方・価値観に沿って、自由に選択できる環境を。人格を無視した働き方になっていないか？女性優位となる（調和・融合）社会を作るためには、大きなパラダイムシフトが重要。（過去の価値観を捨てる時期）【再掲】	40代	女性
保育	女性の社会進出推進と少子化対策を両立するには、保育園の充実が最優先。施設を増やすだけでなく、保育時間の延長など利用しやすくする工夫が必要。そのためには、保育士の増加が必要不可欠なので、処遇改善が近々の課題である。育児を終えた保育士も保育士に復帰するような待遇にすれば、それ自体も女性就労者増加につながる。また子育てと介護の両方を抱える家族が今後増えてくるので、今から子育て対策と介護対策の連携が必要。	40代	男性
	少子高齢化の対策が具体化されていない。保育所が足りない。正規雇用が少なく、非正規労働者が増えているなかで、子育ての環境整備をどうするのかといった政策提案がほしい。雇用保険、高齢者の労働意欲に反映した、新しい雇用保険制度がほしい。女性、若者、保育関係、介護関係の労働者の賃金が安い、もっと上げるべきだと思う。	50代	男性
	子どもたち、老人に関わる人々の処遇改善。	60代	男性
	保育園、特養の経営者が福祉を商業としてとらえ過ぎている。従業員の待遇が劣悪すぎる。経営者のモラル向上に向けた必須化をすべき。	70代以上	男性
	高齢化対策をやめて少子化対策。子ども一人に子育て費用月5万円出せば（子育て対策）すぐに出生率上がりますよ。出生率1.8では人口は増加しません。出生率2.1を目指して環境整備を。保育士、介護士は、3～5万円くらい給料アップを。誇りを持って働けるように。	40代	男性
	働き方の意識の変化に対して、制度の改善整備が遅れていると感じます。企業に勤め育休中ですが、復職のことを考えると憂鬱になるというのが働くママたちの思いです。保育園、保育サービスの充実、学童、家事・育児の公共サービスの充実をお願いしたいです。今後に増える介護問題についても同様に思います。	30代	女性
	私は介護保育関連事業者です。今日の介護保険は財源を少なくするための仕組みになっているように感じる。これでは本当の意で処遇改善にならない。介護保険の財源をもっと増やすべきで、保育士は強制的に教員と同様な公務員待遇など、徐々にではなく、大きく仕組みを変えたい。強い経済の果実をその財源に回すのではなく、その仕組みを作り、収入UP→強い経済へとすべきだ。	30代	男性
	介護福祉士の実情がわかった。我々もやがて世話になることを考えると介護、福祉に従事する人にますますがんばってほしいと思った。将来の保育士さんも頑張って仕事についてほしい。国としても積極的に進めてほしい。	70代以上	男性
	保育士と介護施設の処遇改善を願います。保育士はたくさんいますが、働くことに希望が持てないでいます。子どもの成長は日本の未来です！早急をお願いします。	50代	女性
	正社員として働いていましたが、子どもに障害があり退職。両立できるしくみも保育所もなく、アルバイトとして働いています。お一人の意見にあったように、国の強制力も必要です。ぼやぼやしている間に子どもたちは大きくなり、まだまだ子どもを産みたい私たちも年をとっていきます。障害のある子ども、地域の園を断られ困っています。一度現場を見て下さい！まず！	30代	女性
やはり子育てしながら働くには、保育所が足りないことがわかります。高齢になって働ける場所がもっとあればよいと思います。介護の仕事を理解し、給料があがるようになってほしいと思います。	60代	女性	

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」（一億総活躍社会実現対話・大阪 アンケート結果）

項目	意見・要望	年齢	性別
保育	参加して、まず第1に感じたのは、やはり若い人の参加が少ないことです。私はニュースを見て今回のことを知りましたが、満員にもなっていなかったようで、宣伝が足りないのではないのでしょうか。私は高齢出産（不妊治療施行）後、4月から仕事復帰予定です。もちろん保育園は入れませんでした。（吹田在住）保活とは一体何なのでしょう。私自身も保育園で育ち、働く母を見て育ちました。フルタイムでまさか保育園に入園できないとは思っていませんでした。不承諾通知が来た時は愕然としました。市は小規模保育園を増やすことで、対策をとっているようですが、今年は3才児の児童が大規模に入れなかったと聞いています。本当に対策といえるのでしょうか。こんなことで、一億総活躍社会の実現など可能なのでしょうか。消費税UPでもいいので、地元の安全・安心な保育園で子育てをしたいです。生きがいなんてありません。2人目も育てたいと考えているのに、このままでは、妊娠のことなんて考えられません。入れなかった人への対策はあるのですか。	30代	女性
	幼保の現場は本当に大変で、一旦離職したら復職するには勇気が必要なのではないかと思うので、有資格者の支援の充実を希望します。小中高の教員及び、教員養成に大きな問題があり、改善を希望します。	50代	女性
	この様な対話集会も大切です。加藤大臣も全力で頑張ってください。待機児童の問題を早急に解決してください。	70代以上	男性
	高齢者が社会で活躍できる仕組み、又「力」が発揮できる場を政治の力で創生されるように思う。女性が仕事ができる環境を整えることが大切。出生率を上げる前に、出産後の育児に対する助成を他の予算を削っても増額すべき。【再掲】	70代以上	男性
	一億総活躍社会はメディアを通じて、よく耳にする言葉であるが、どのように進めていきたいのかビジョンが全くイメージできない印象が強いです。特に“数字”だけが先行しているように見え、具体性に欠けているように思います。本当に“良くしたい”“何とかやり遂げたい”という思いがあるのならば、具体的に国民に理解しやすい言葉で説明して欲しいと思います。“女性活躍推進”正直プレッシャーです。職場において女性活躍の言葉をよく耳にしますが、まだ心の準備も気持ちも整っていないのに、“管理者を目指せ”と言われても心が折れてばかりです。もっと段階を踏んで取り組むべきではないでしょうか？数字だけを先に出す国の方針に疑問を感じます。 企業の取り組みに任せている印象あり。もっと国が関わってほしい。 様々な質問に対して答えが不明確な印象。特に保育所、待機児童の問題に対して、もっと具体的に挙げてほしい。会社内に保育施設を設けるなど、待機児童対策を具体的に考えて働く女性の環境を整えてほしい。【再掲】	40代	女性
子育て	子育てをしながら社会で一人前として働くのは大変。出産、育児という短期間だけでなく、小中学校においても突然な発病et.c.で手がかかるのが実情。合計特殊出生率が上昇しない本当の声をきちんと分析してほしい。	40代	女性
	保育所の不足に対して企業内保育室を増やすことは税制優遇や補助金ですぐに対応できるはず（ヤクルトみたいに）。子どもを産み、育てることは国が最も尊ぶべきこと。保育所に預けて働かないと自分は活躍できないと思ってしまうのはなぜでしょうか。私は子育てをたくさんした人は老後の年金も安心という制度をつくってほしいです。子どもの教育費で老後の貯金ができないことが不安です。その不安を解消してください。子どもを育てることが社会に最も貢献しており、女性にしかできない活躍であることをもっと広報してください。	50代	女性
	二人目、三人目がほしいと思って産めない人が周りにたくさんいます。大半が経済的理由です。経済の活性化と賃金の上乗せを望みます。	40代	女性
	「学童保育（放課後児童育成事業）」の現状も注視してもらいたい。	60代	男性
	「子育ての女性」をなぜ働かせようとするのかわからない。「子育て家庭」を支える給与を男性に与える社会構造を目指したら良いと思う。	70代以上	男性
	第二の矢の中に「保育士の確保、待遇改善」がありますが、それとともに学童保育（小学生）の指導員の確保、待遇改善、研修の充実、学童保育の待機児童をなくす取り組みも大事だと思います。	60代	男性
先日、保育園落ちた、日本死ねのブログが日本中で注目されているが、2世代住宅に補助金を出すことに野党は家を建てるのに国が金を出すのかと批判したが、2世帯住宅にすれば子供を保育園に預けなくとも、また将来、祖父母が介護が必要になった時、家で看れる昔の日本の美しい文化であります。ぜいたくではない、20坪の家を3階建にしている人も多く、その方が合理的である。私もそうであったが、子供のためにも良く、税金もまた減らせる。呉越同舟の政権では、舟は真つすぐ進まず、接岸を認める国もない。同じ考えの政権で突き進んで。頑張れ自民党！	70代以上	男性	

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」（一億総活躍社会実現対話・大阪 アンケート結果）

項目	意見・要望	年齢	性別
子育て	少子化には育児の楽しさをもっと知る必要があると思いました。結婚生活も含めて…介護もしていく上で大変だなと思う。	50代	男性
	祖父母が近所にいても、年金では足らずパートに出たりで、孫を見てあげられない人が多いです。なので保育所を増やすより、孫を見る世帯へ月々10万給付すれば、保育所を増やさなくてもよいのでは？本当に預ける人がいない、地元でない、共働きの人が保育園利用できるのでは？保育園を増やしたら後は学童保育がまた足りなくなってくると思います。とにかく子育て世帯にお金をください。	40代	女性
	少子高齢化の対策が具体化されていない。保育所が足りない。正規雇用が少なく、非正規労働者が増えているなかで、子育ての環境整備をどうするのかといった政策提案がほしい。雇用保険、高齢者の労働意欲に反映した、新しい雇用保険制度がほしい。女性、若者、保育関係、介護関係の労働者の賃金が安い、もっと上げるべきだと思う。【再掲】	50代	男性
	高齢化対策をやめて少子化対策。子ども一人に子育て費用月5万円出せば（子育て対策）すぐに出生率上がりますよ。出生率1.8では人口は増加しません。出生率2.1を目指して環境整備を。保育士、介護士は、3~5万円くらい給料アップを。誇りを持って働けるように。【再掲】	40代	男性
	一度に多くの問題の解決は難しいが、一つ一つ着実に進めてほしい。子育て問題を真に解決してほしい。国・地方の施策に女性の参加を。【再掲】	60代	男性
ひとり親家庭	私は精神障害シングルマザーで就労もできません。子が親の状態によって進路を阻まれる理不尽に憤っています。子育ての無償化を求めます。「ゆりかごから墓場まで」が集め提出した、署名が求める名もなき人々の怒り・嘆きは「保育所落ちた」だけではありません。現状への持って行き場のない怒り憤り、嘆きが3万近い署名となってわずか1週間で国会に届いたのですよ。厚労省が推進した「養育費の簡易算定表」は一人歩きしてしまったものです。国が子どもの為にお金を出してくれないなら、せめて父親から支払われることを裁判所は元々おかしな算定方式に更におかしな説明を加えて、理不尽な判断を下しました。国が算定方式の検証をしてください。奨学金も給付型にしてください。でなければ、子どもは「夢」を持つことすらもあきらめざるをえません。DV防止法が謳う「職務関係者の啓発」はまだまだ為されていません。せめて裁判所・裁判官には理解されるべきでしょう。	50代	女性
	「三世同居の促進」とあるけれど、世の中すべての家庭が支え合い分かち合って暮らせるわけではない。表だって見えなくても家庭内暴力や虐待（の記憶）に苦しみ、虚しさや無力感を感じたり、安定した家庭を築けなかったり、ひとり親家庭に（結果的に）なっている人がいる。ひとり親家庭やひとり暮らし高齢者の経済的・社会的貧困はもはや見過ごせない。「自己責任」とは言うが、誰も一人だけで生きていけるわけではない。どのような家・家庭にも、財源・制度・人のつながりへのアクセスを提供することが必要なのではないか。	20代	女性
障害・難病	実現に向けて、障がい者に門戸を広く厚くなるように頑張してほしい。	60代	男性
	難病患者の法定雇用率について改善してほしい。一般枠での採用も難しく、障害者枠でもない狭間の人達を雇用することで、雇用率の改善につなげたい。2ヶ月に1回の通院させでき、経度な配慮で働けるのに、その機会がなく時給800円で働くしかないので、結婚なども考えられない。	40代	男性
	もう一度ハローワークの障がい者の窓口で話を聞いてみようとする。	50代	無回答
	一億総活躍社会に障がいのある方も含むのなら、インクルーシブ教育への取り組みが何よりも大切だと思います。障がいのある人も一緒に働くのなら、障がいのないとされている人に彼らへの理解を深めてもらうことが大切で、それは子どものころから一緒に空間で育てないと難しい。保育園までは、障がいのある子どももいない子どもも同じ教室で過ごせるのに、小学校に入ったとたんに障がいのある子とない子で教室が変わってしまう。今のままでは全く駄目だと感じています。	40代	男性
	精神障害を持ちながら働くということは、大変な事だと感じた。このような機会をもっと広く関係し、いろいろな人々に広げて行ってほしい。	50代	男性
障がい者雇用率をあげてほしい。障がい者雇用と言っておきながら、全然進んでいない感じがする。障がい者差別解消法ができるが、看板だけはダメ。本当に実行すべきである。	40代	男性	

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」（一億総活躍社会実現対話・大阪 アンケート結果）

項目	意見・要望	年齢	性別
	難病法から漏れた。制度の谷間にも、就労にも力を入れてほしい。現在は何も社会制度がない。	40代	男性
障害・難病	<ul style="list-style-type: none"> 最低賃金を上げてほしい。「労働者全体の待遇を上げるために」 経営者の顔色を見ながら会社で働いている人が多いので、サービス残業や労働規約の取り締まりを強化してほしい。 障害者の農業従事促進は、不和に感じる。なぜ農業なのかかわからないと、農業にも障害者にも理解が深まらないまま進めているように見える。 男性の育休の話は流れてしまいましたが、引き続き取り組んでください。【再掲】 	30代	女性
高齢者	私の周りで70歳以上の高齢者で元気なひとたくさんいます。働く意欲もありますが、シルバー人材センターでは70歳以上では倒れられたら大変だとこのことで門前払いになります。	70代以上	男性
	高齢者も社会保障のみを頼らず、体をよく動かし、食事に気を配り、医者や薬に頼らず、健康な体を維持し、どのような仕事も喜んで働き、あるいはボランティアとして社会に関わっていくことが大切だと思います。	70代以上	女性
	諸策が出されようとしていることは報道を通して耳目に伝えられていますが、自らへの実感が全くありません。早くから定年退職の前倒しで放り出されたむなしさを今年になっても悔しく思います。「一億総活躍」の言葉のみでは無理です。年金のみでは生活費の高騰により住みづらくなっています。社会への働きかけ、労力提供をし、さらに収入の確保を期待します。収入への税軽減をあわせてしてください。私はまだ元気です。そのことにより若者たちへの働く機会、収入の増加にもなります。	70代以上	男性
	元気な高齢者（特に女性）が今までの仕事とは違う、たとえば福祉・保育の専門の技術・資格がなくても手伝うことができると良い。	60代	女性
	元気で健康であれば、年齢に関係なく働ける場所があれば良い。介護施設でボランティアをしています。働ければなお良い。高齢者雇用専用のハローワークをつくる。ボランティアで年金プラスあれば良い。	70代以上	女性
	65歳以上の名称「高齢者」が、一億総活躍のモチベーションを下けている。	60代	男性
	高齢化社会、仕事は収入獲得だけでなく社会との大きな接点であり、いつまでも働ける社会であってほしい。経営側から考えると定例での再契約制度の充実も必要である。また目先の問題だけでなく、家族のあり方を根本から考え直す必要がある。民法の家族法。	60代	男性
	日本経済の成長のためにも高齢者が老後の不安なく、消費に回せるよう、もっと活躍できる社会にし、知識を活かして偉大な社会・国造りを目指せるようにしていきたい。スキルアップや機会を増やす努力をしてほしいし、目に見えるようにしてほしい。	60代	男性
	法律で80歳まで勤務可能になる制度の採用を期待します。90歳はオーバーですが、高齢者社会、働きたいやる気満々の老人はたくさんいます。会社で余剰人員がある場合、ほかの会社にシェア出勤できる制度を政府主導で制度化していただくことを望みます。老人が働ける場を期待します。	60代	男性
	健康寿命を延ばして介護費用を減少させる。65歳以上の雇用延長は鍵になると思う。国の施策に反映してほしい。継続雇用補助の延長をお願いしたい。	60代	男性
	年令にこだわらない職場の提供。	70代以上	男性
	意見交換の内容をいかに支援できるかを考えてください。特に高齢者を雇用するように政府が力を入れてください。	70代以上	男性
50代の両親が共働きで長時間労働です。20代の私が仕事をしながら家事全般を引き受けています。私自身も転職をしたため収入が少なく、独立することが困難です。若い人や子育て世代へ手厚い支援も必要ですが、定年前の世代にも支援をお願いします。親世代に余裕がない限り若者は安心して自立できません。	20代	女性	
<ul style="list-style-type: none"> それぞれ多種多様の課題がありますが、着実に実施してほしい。 65才→働きたいのに仕事がない（働けない）人が多いと思います。 年金だけでは生活できない。 	60代	男性	

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」（一億総活躍社会実現対話・大阪 アンケート結果）

項目	意見・要望	年齢	性別
高齢者	社会保障費（年金、医療）に後期高齢者の支出割合に当時者自ら驚く。医療費の負担を少なくする努力の一貫として、毎日歩く、歯の定期検診（2ヶ月1回）が健康寿命のベストと落ち着いた。体力の根源は口から、旨い食事はどんなクスリにも負けない。歯の検診3割負担、20分治療で2750円は高い。ここチェックして安く国民普及してほしい。	70代以上	男性
	高齢者でも資格取得に挑戦したいと意欲ある方に、低料金で学べる資格（各種）取得コースなどの機会を与えていただけたらと思います。どの分野でも専門的な知識、技術は必要だと考えます。	60代	女性
	高齢化社会への対応。	60代	男性
	元気な高齢者をどのように有効活用するのか具体策がない。現在の元気な体調を維持させれば医療費の削減、介護者、認知症の減少にもなり、その具体策の実施を期待したい。	70代以上	男性
	高齢者の活躍する場を紹介する機会が欲しいと思います。	60代	男性
	65才以上の定年後に働きたいとの希望を持っている人が7割いるとのこと。しかし実際は2割の人しか働いていない。この現実をしっかりと見つめ直して、一億総活躍の実現のためには、その働く仕組み、環境を整えていただきたいと思います。働くことへの意識と現実のギャップを埋める政策政治をお願いします。	60代	男性
	議員の数が多すぎるため、国民の声が反映されない。私は75才になったばかりですが、75才で国から線引きされています。医療費も1割負担から3割負担です。これも政権により変動もありました。制度の改革が必要です。	70代以上	男性
	高齢者の活用に努めてほしい。元気で遊んでいる老人。変ですよ。	60代	男性
	私は建設設備の設計を主業務とする技術者です。74才になります。昨年の6月に福岡から大阪へ移転してきました。引越す前までは、定年後も現役として同じ会社で働いていました。大阪に来てからも、必要な資格は全て取得しており、知力、体力も未だ健在であることから、容易に仕事が見つかると考えていました。ところが年令（74才）が致命的なファクターとなり、すべて門前払いになりました。驚いたことに、ハローワークの就職支援講座の申込にいた担当者から65才未満でないければ、合格は得られない、申し込んでも無駄と言われました。一億総活躍とは年令制限があるのかと悔しい思いをしています。	70代以上	男性
	団塊の世代、特に男性の社会参加について、具体的には就労の機会を増やしていくような施策が必要であると思っています。	60代	男性
	一億総活躍社会の実現というなら、保育所をもっと増やして待機児童ゼロを目指すという言葉だけでなく、具体的に何をどうするか国民に説明してほしい。人を育てる仕事をしている人達が、安い賃金で将来に夢も持てないような社会では困ります。年金生活者になっても、安心して老後を過ごせない人のなんと多いことか。働きたくても年令で働く場所もなく、どうしろというのか。国民が主人公の日本で、明日のことを心配なく生活できる状況を作っていくことが、政治をまかされている人の仕事だと思います。国民の税金で行っていることを忘れないでください。	60代	女性
	高齢者（70才以上）にも働く機会を与えられたらと思います。（65才まで就業）	70代以上	女性
	活躍するためには、役割と社会参加が不可欠です。その土台となるのが「住まい」です。高齢者の住まいを施設などに限定せず、多様な型が認められるよう、規制緩和をお願いします。高齢、学生、障がいの方のシェアハウス・民家改修など。	40代	男性
「三世同居の促進」とあるけれど、世の中すべての家庭が支え合い分かち合って暮らせるわけではない。表だって見えなくても家庭内暴力や虐待（の記憶）に苦しみ、虚しさや無力感を感じたり、安定した家庭を築けなかったり、ひとり親家庭に（結果的に）なっている人がいる。ひとり親家庭やひとり暮らし高齢者の経済的・社会的貧困はもはや見過ごせない。「自己責任」とは言うが、誰も一人だけで生きていけるわけではない。どのような家・家庭にも、財源・制度・人とのつながりへのアクセスを提供することが必要なのではないか。【再掲】	20代	女性	

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」（一億総活躍社会実現対話・大阪 アンケート結果）

項目	意見・要望	年齢	性別
高齢者	・高齢者雇用継続について→現状「希望者全員継続・再雇用」が努力義務ではない。一定規模以上（301人以上）は義務規定は（罰則つき）とすべき。・女性の雇用（パートタイマー）について→不当に低い賃金となっており、一旦正社員のキャリアを断られると時給1,000円に満たない職にしか就けない場合がほとんど。・130万の扶養家族→106万にする前になぜ収入を下げて働かざるを得ないのか？という現実をしっかりと調査すべき。・女性の賃金差別について→同一労働同一賃金を徹底させてほしい。301人以上規模の企業は少なくとも義務化へ進めてほしいです。【再掲】	30代	女性
	やはり子育てしながら働くには、保育所が足りないことがわかります。高齢になって働ける場所がもっとあればよいと思います。介護の仕事を理解し、給料があがるようになってほしいと思います。【再掲】	60代	女性
	高齢者が社会で活躍できる仕組み、又「力」が発揮できる場を政治の力で創生されるように思う。女性が仕事ができる環境を整えることが大切。出生率を上げる前に、出産後の育児に対する助成を他の予算を削っても増額すべき。【再掲】	70代以上	男性
介護	介護福祉士養成校で働いているが、介護の仕事を志す方が少なくなっていると感じる。介護の仕事は魅力ある仕事であると、若い世代、その親の世代に伝える機会が沢山あれば良い。	20代	女性
	経営者の問題意識が大事でしょう。有効求人倍率が好転しているにもかかわらず、福祉の仕事が好転していない、問題。	70代以上	男性
	介護人材の報酬をせめて企業様の平均賃金並みに引き上げてあげないと一生の仕事にならない。	50代	男性
	社会福祉法人マイナス改定反対！みんなの力で利用者の要介護度を下げるために頑張っても、介護保険の金額が下がってしまうシステムは絶対おかしい。	30代	男性
	介護について、未婚化についての対策を検討していただきたい。	70代以上	男性
	それぞれの矢について、いつまでに、どれだけのレベルまで到達するのか、目標と期限を明確にして取り組んでいただきたい。また、都度、その結果を到達可否に関わらず（もし達成しなかった場合の追加対策も含めて）きちんと公表していただきたい。介護施策について。（個人的経験も踏まえて）地方から都市部への人の集中により遠距離介護も増加している。遠距離介護は、どこの相談窓口を利用すべきか戸惑うなど困難な点等もあり、地域同連携や制度面の利用などの面にも配慮した施策をお願いしたい。	40代	男性
	今後、介護の事、再就職の事、子育ても大事ですが、介護を最重要視してほしい。老老介護ばかりになります。年金生活で介護費用は支払えません。もっと一般市民に目を向け、国会の中での討論で終わらせないでほしい。国民に目を向け耳を傾けてほしい！	50代	女性
	介護する家族を支えて22年になります。（無償のボランティア）在宅介護を続けるためには、現場をよく見ていただき、老老介護、病病介護、認認介護、遠きより介護など、家族が倒れては継続不可能です。家族にご理解と温かいご支援を望みます。22年間の家族の会の運営は、高潔な人達の善意で活動しています。家族の命を看取った経験もあります。それなりの役割も果たしています。介護にはマニュアルもデータも通じなく、きれごとでは済みません。	70代以上	女性
	介護に関する予算を多く望む。個人での自宅介護に目を向けてほしい。	70代以上	男性
	介護の仕事をしています。向日市社会福祉協議会でパート登録で時給1320円～の仕事です。何年務めていても社員にもなれず、60人いる登録の訪問介護員は準社員枠が3人だけという実態。乙訓の向日市長岡京市に施設を運営している一般事業所においては、デイサービスの職員の時給が830円というのがまかり通っている。全般に見ても事業所の職員の手取りは全部引かれて手取12万円あるかないか。そんな金額でこの重労働を他の仕事をできなくて落ちてきた物だけが溜る所になり、大きな責任と重労働と薄い給料でどう活躍していけというのか。	50代	女性
企業の休職制度も大事だが、介護職は施設でケアに当たって下さる方々の処遇改善、若い方がなりたい、やってみたい職業に上がるようになってほしい。ケアマネージャー良否などの改善を絶対してほしい。	50代	男性	
介護の充実を期待します。（要介護に対しては特に）ヘルパーさんの処遇改善。	50代	男性	

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」（一億総活躍社会実現対話・大阪 アンケート結果）

項目	意見・要望	年齢	性別
介護	女性の社会進出推進と少子化対策を両立するには、保育園の充実が最優先。施設を増やすだけでなく、保育時間の延長など利用しやすくする工夫が必要。そのためには、保育士の増加が必要不可欠なので、処遇改善が近々の課題である。育児を終えた保育士も保育士に復帰するような待遇にすれば、それ自体も女性就労者増加につながる。また子育てと介護の両方を抱える家族が今後も増えてくるので、今から子育て対策と介護対策の連携が必要。【再掲】	40代	男性
	少子化には育児の楽しさをもっと知る必要があると思いました。結婚生活も含めて…介護もしていく上で大変だなと思う。【再掲】	50代	男性
	子どもたち、老人に関わる人々の処遇改善。【再掲】	60代	男性
	私は介護保育関連事業者です。今日の介護保険は財源を少なくするための仕組みになっているように感じる。これでは本当の意で処遇改善にならない。介護保険の財源をもっと増やすべきで、保育士は強制的に教員と同様な公務員待遇など、徐々にではなく、大きく仕組みを変えたい。強い経済の果実をその財源に回すのではなく、その仕組みを作り、収入UP→強い経済へとすべきだ。【再掲】	30代	男性
	介護福祉士の実情がわかった。我々もやがて世話になることを考えると介護、福祉に従事する人にますますがんばってほしいと思った。将来の保育士さんも頑張って仕事についてほしい。国としても積極的に進めてほしい。【再掲】	70代以上	男性
	保育士と介護施設の処遇改善を願います。保育士はたくさんいますが、働くことに希望が持てないでいます。子どもの成長は日本の未来です！早急をお願いします。【再掲】	50代	女性
	[結婚に至る機会の少なさ]について。1も2も若者の雇用安定に限ります。 [介護に関する事項] 処遇改善しか良くなる事はないのではないかと。きたない給料が安い等、3Kが無くなることを希望します。【再掲】	70代以上	男性
	やはり子育てしながら働くには、保育所が足りないことがわかります。高齢になって働ける場所がもっとあればよいと思います。介護の仕事を理解し、給料があがるようになってほしいと思います。【再掲】	60代	女性
	少子高齢化の対策が具体化されていない。保育所が足りない。正規雇用が少なく、非正規労働者が増えているなかで、子育ての環境整備をどうするのかといった政策提案がほしい。雇用保険、高齢者の労働意欲に反映した、新しい雇用保険制度がほしい。女性、若者、保育関係、介護関係の労働者の賃金が安い、もっと上げるべきだと思う。【再掲】	50代	男性
	保育園、特養の経営者が福祉を商業としてとらえ過ぎている。従業員の待遇が劣悪すぎる。経営者のモラル向上に向けた必須化をすべき。【再掲】	70代以上	男性
高齢化対策をやめて少子化対策。子ども一人に子育て費用月5万円出せば（子育て対策）すぐに出生率上がりますよ。出生率1.8では人口は増加しません。出生率2.1を目指して環境整備を。保育士、介護士は、3~5万円くらい給料アップを。誇りを持って働けるように。【再掲】	40代	男性	
地方創生	地方への人口移動を促したい。対話でなく、発表になっているのが残念。発表者と大臣の会話は一方通行の時間だったと思う。持って帰るものが何もない。	60代	男性
	東京一極集中の是正を早期に取り組むべき。若い人が東京に集まることで、結婚しない、子どもを産まない人が増えている。	40代	男性
その他	仕事も生活も夢のある社会。活躍は頑張るのではなく、enjoyだと思えます。真面目な中にも、楽しさや夢のある場の提供をお願いします。	40代	男性
	様々な人が希望をもって働ける社会を作してほしい。	20代	男性
	大阪・関西の発展に、少し国の予算を使ってほしい。大阪に世界一の文化会館（世界にない、経済、学術、芸術の中心）を作してほしい。	60代	男性
	良い社会を目指していることは理解できるが総花的すぎる。重点的に進めるのはどれか。	70代以上	男性
	互いに支え合うという意識、なんでも官に頼む受動的態度を改めるように私は生きたい。	60代	男性

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」（一億総活躍社会実現対話・大阪 アンケート結果）

項目	意見・要望	年齢	性別
その他	中高年向けのソフトウェア活用講座が生産性向上に必要と考えます。	40代	男性
	現在の安倍政権は講釈は立派ですが大企業の収益は高いですが、中小企業も個人も、消費について意欲が増える、強まるとは思えない。経済論理(理論)上、間違っていないのかもしれませんが、「マイナス金利」はタンス預金が増えるだけでしょうね。自民党支持一筋ではありますが、最近では自民党政治に不安と不満が徐々に増長しております。	70代以上	男性
	何かチャレンジしようと思った時、1人では実現は難しいです。仲間を募って、目標を共有してチャレンジできる環境を作らないと、一億一人ひとりに頑張れ！といってもできないと思います。まずは応援環境づくりを。	60代	男性
	現在ある職業の多くは、近い将来コンピューターやロボットにとって代わられると言われてしています。そのうえで国民全員が社会で活躍できる仕組みを、国内だけでなくグローバルな視点で考えていただきたい。年寄りも早く高度成長期やバブル期を忘れましょう。	40代	男性
	旧アベノミクスこそが本分であり、今後とも大切にしていきたい。	20代	男性
	差し障りのない回答ばかり。	70代以上	男性
	活躍している人だけでなく、活躍したくてもできない人が再び輝けるようにしっかり予算を組んでいただきたい。	20代	男性
	今後とも折に触れてこのような方向に向けて、雀の涙でもお手伝いをしたいと感じております。	60代	男性
	「きぼうのつどい」をスタートしてから3年になりますが、参加者他から大変好評をいただいております。毎年参加者が喜んで帰ってゆく姿を見てボランティア一同喜び、一層スローガン通りいろいろ工夫を重ねていき、広く他の地域にも広がってゆくように願っています。本会合のスローガンと理念についてご検討いただき、必要であれば詳しい状況を申し上げたく、協力させていただきますので、ご連絡いただければ幸いです。	70代以上	男性
	それぞれの立場に応じてよりきめ細やかな指針が必要。実行できる意義のある、本当に役立つ施策、指針を行っていただきたい。	60代	女性
	「若い女性にコピーを頼まれると・・・」の発言は問題、しっかり指摘すべき。	50代	男性
	担当大臣というのがあるのは知らなかった。	60代	男性
	国民一人ひとりが自覚し、率先して行動するしかない。one for all, all for one	60代	男性
	「一億総活躍社会」との固い言葉が残念。資料もわかりやすいが、言葉が固く、まるで会社の戦略書を見ているよう。わかりやすく国民に説明する工夫がほしい。これに限らず、ぜひ若い人たちにわかりやすい政府広報を考えさせてほしい。	60代	男性
	自公政権は日本をポリ公国家とすべく着実に歩みを進めている。公安ポリ公を先頭とするポリ公が国民を監視し、そして国民が活躍するというマンガを期待するのが、国家社会主義者である晋三と国家社会主義政党である自民党である。「自由」ではなく「民主」でもない。	60代	男性
対話を実行している宣伝不足を強く感じる。また大阪で4カ所目で最後だが、もっと対話を深めていただきたい。こんなことで対話をやったと言わないでほしい。	60代	男性	
一億総活躍社会の実現にはアベノミクスの成功を国民に実感してもらうこと。それによりどれだけ税金が増えたかなど。日本の国際社会での存在感を高めること。国際社会との連携が極めて大事であることをわからせる必要がある。安全保障などでの不毛な反対論ばかりでは、国際社会での信用は得られないと思う。	60代	男性	

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」 (一億総活躍社会実現対話・大阪 アンケート結果)

項目	意見・要望	年齢	性別
	人間を、どう生まれたかではなく、どう生きているかで判断してほしい。	40代	男性
	先ごろピケティ教授が指摘されていましたが、再配分の手法を確立できないと社会崩壊が待つのみでしょう。ITの進歩で人間の存在価値、社会の在りようが大きく変わるであろう近未来のデザインをしっかりと見据えた、大胆な骨太施策を進めてほしい。既得権が人間社会を壊すことのないように。ex.消費税論議とともに累進課税を論議すべき	70代以上	男性
	人口減少は歯止めがかかれば良いというものではないと思います。最初、加藤大臣は、労働力、購買者の減少だとおっしゃっていましたが、これは公的サービス(治安維持・国家防衛)など、日本国を支えるものが消えているというくらい警戒心をもってほしいです。国連機関のデータでは、日本は適切に対応すれば、出生率2.00まで改善されるとわかっています。先進国だから人口が減るとよく言われますが、欧州では逆に増えている国家があります。アベノミクスで潤っているのは大企業だけである。これは事実だと思います。人口の大半を占める中小企業に力がつく政策をお願いします。人口・経済の問題を大きく変えるものだと思います。公取法に基づく保護技術流出の防止など、国が本気を出せば、この国はすぐに改善されると思います。どうか国民のために政治をしてください。それだけで一億総活躍社会はおのずと整うと思います。僕たちはその未来へ全力で努力をします。	10代	男性
	まずは低下し続けている実質賃金をあげる政策をつくってほしい。福祉が改善するだけで少子化が止まるとは思えない。第二の矢の財政出動し、インフラ・エネルギー分野への投資を増やしてほしい。	40代	男性
	もう少し若い人向けの対話企画をやったほうがより効果的だと思う。暇つぶしは失礼だが、18歳選挙権も導入される中、未来へ向けて若年層へのアピールがより大切だと思われる。	60代	男性
	実現にはコンセンサスが必要。	50代	男性
	テーマが広すぎて実現性があまりにも低く感じる。もっと細分化したほうが責任の所在もはっきりすると思う。	30代	男性
その他	あまり漠然とした政策内容を説明されていて、全く納得できる内容がなかった。意見交換を行うのであれば具体化した内容を報告していただきたい。	20代	男性
	未来を信じられる社会の実現へ。	60代	男性
	「地方創生」と「一億総活躍」との差は何ですか?HPにでもご回答いただけたら幸いです。雇用面(労働)、保険と予算面(財布)等、対応する役所がまたがっておりスムーズに進めていただけたらと思う。人事異動で毎年人の入れ替わりが激しい。雇用期間に関わりなく、やりたい人にやれる雇用制度を作っていただけたらと思う。	30代	男性
	このような対話セミナーをより推進していただきたい。国民の理解が最重要。	50代	男性
	「活躍」という言葉より「包摂」のほうを全面的に出してほしい。ソーシャル・インクルージョン(社会的包摂)の理念を基盤として。住まいと食べ物、健康面に関しては、どの方でも最低限保証してほしい。	30代	男性
	特許「マッチングシステム」を取得して6年目(特許料は払込み済み)。ビジネスプランも50%できているがスポーツの全域と競技もあり、私の年齢と過去スポーツ経歴(支配人とコース設計-25年)ではなかなか中小機構へも通い何十人と会ってもほとんど消極的なアドバイスでした。私が一番伺いたいのは「スポーツ庁」と「日本スポーツ振興センター」と体育協会の本部です。どうかよろしくお願いします。	70代以上	男性
	様々な方々の意見があることがわかりました。政府の方々の日頃考えてくださっていることがいかにありがたいことなのかもよくわかりました。私は私なりに思うこともありましたが、一億人の方々が・・となると、本当にとてつもない数ですね。このような対話の機会こそが第一歩だと思いました。ありがとうございました。	40代	女性
	ビジョンは理解できるが実現できるとは思えない。実現へのアプローチを、特に財源について確保できるのか議論してほしい。国債発行してはだめですよ。	40代	男性
	一般者の質問時間を増やすべき。	50代	男性

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」（一億総活躍社会実現対話・大阪 アンケート結果）

項目	意見・要望	年齢	性別
その他	加藤大臣のパネラーに対する対応は好感がもてた。	60代	男性
	年齢や立場も多様なので、きめ細やかな政策が必要だと感じた。	40代	女性
	子どもがある人となない人との所得税他、地方税を安くする方法をご検討願う。税金の格差をつけること、かなり大きい格差が必要です。	70代以上	男性
	言葉遊びはやめて実現に向けて進めてほしい。議員の皆さまはもっと外に出て勉強してほしい。机上では駄目。各自治体に一億総活躍社会実現対話の予算を出し、もっと細やかな議論が必要である。	70代以上	男性
	一億総活躍の場所は誰が作るのですか。国民がつくり、また一人ひとりの個人がつくるのですか。今までのニュースなどからは国会議員、国家公務員、地方公務員の方々の活躍部署・箇所を増やしたのみに思います。自民には全く実感がありません。あまりにも具体的で、成果のあがらなかった末には誰が責任をとるのか？国民ですか？また実現期限を強調していただきたい。まだまだ分かりにくいです。国会議員に強い緊張感がない。	60代	男性
	大企業の給料アップを上げたと言っているが馬鹿か。大企業の社員の給料を上げる必要なし。低所得者の収入UPを！	70代以上	男性
	国民同士、政府と国民などのコミュニケーションの活性化、優等生だけでなく劣等生の方の話も取りあげてほしい。	70代以上	男性
	「何かの困りごとで支援してほしい集団」。「働きたい、支援できる集団」。相互に支える仕組み、グランドデザインを明示してほしい。既存の仕組みを強化する程度の取り組みでは一億総活躍実現は難しいと思います。	40代	男性
	選挙の票目当てのスローガンではなく、財源を明示した具体的な政策を国民に提示すべき。国民相手の話と国会での答弁が違いすぎる。国会では例えば「介護保険の継続性が一番大事」と総理が言っている。しかしこういう集会では、そういう負の部分には触れない。国民は「出来ることと出来ないこと」の明確な提示を求めている。お花畑スローガンは誰も救えません。	40代	男性
	今後、個々の政策について、裏付けを明示し、公開しつつ進行管理を厳格に行ってもらいたい。	70代以上	男性
	継続的な取り組みとして、実施をお願いします。ただの打上げ花火とならないよう。	50代	男性
	老人に対する論点が多く、若い人に対する論点が少ないと思います。数年間、大きな財政支出を行い、出来るだけ上げるあらゆる策を行うことが良いと思う。（フランス政府のような）	50代	男性
	本日は様々な問題、盛り沢山でございましたが、それをそれぞれに議論できるような場も設けて頂けたら、官民の距離がもっと縮まるのではないかと思います。	50代	女性
	企業、特に領域や規模を従えた関係性から、支援や企業改善へとつなげてほしい。	50代	男性
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活躍する人を増やすためにも、経済をもっと強くしてほしい。 ・ 投資するためにも、補助金を増やして欲しい。 ・ まだ消費税は10%にしないで欲しい。 ・ 海外支援も大事だが、日本に住む人のことも大事にしてほしい。 	40代	女性
今回の会では、働き方改革がメインになっており、生産性拡大の話が全く出てこなかった。一億総活躍という話が大きすぎており、何をメインにして行っていくのか分からなかった。一億総活躍担当は、国家の頭脳として位置づけ、各省庁を連携し、どこに対して何を伝え、実行していこうとしているのか、明確化してほしい。又、国会議員の働き方改革がどうなっているのかをきちんと伺いたい。国が指導するのだから、議員は「これだけ実行し、努力している」というものを示してほしい。	20代	男性	
配布資料7ページの表について、「有業率の差」がマイナス数字になっているために、内容が理解しにくくなっている。引き算の順を変更してプラス（%）の数にする方が自然です。今回に限らず「政府発行物」には分かりにくくしていると考えざるを得ないものが多いと思います。今後の改善を強く希望します。	60代	男性	

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」（一億総活躍社会実現対話・大阪 アンケート結果）

項目	意見・要望	年齢	性別
その他	企業収益は良くなったと言われていますが、中小企業の方に恩恵が回っていないように感じます。大企業だけ良くても、海外に投資を行うでしょうし、8割・9割の方にとってプラスになると思えません。結果と内容をもう少し検討して頂けると嬉しいです。	30代	男性
	「一億総活躍社会」こういった言葉をつくる以上は、主旨を明確にし、こんなしょうもない会を開くよりも、メディアを通じて具体的なイメージを持てる表現をしてほしいです。	30代	男性
	マスコミ、各メディアのネガティブキャンペーンを廃止する。未来に対して良いイメージをもつことが大事。	20代	男性
	実際の対話が難しいなら、ネットで声を集めてみてほしいです。今日話された内容について、もっと他の視点もあるでしょう。大臣はどういう立場なのでしょう。今日の壇上で話された人の内容さえ知らないというわけではないと思いますし、この方々が求めていることが全ての意見でもないと思います。日本がよくなる為に、もっと多様な意見を集めてみてほしいです。非正規、フリーランスの意見は伝わりにくい（組織がないので）そういった点でもネットなど使ってほしい。	50代	女性
	意見交換の件ですが、もっと深刻な理由で社会に参加しづらい理由もあると思います。そういう点について、まず知りたいと思います。それに対しての解決策がないことには、一億総活躍社会の実現は難しいように思われます。	40代	女性
	社会的弱者に目を向けた政策を進めてほしい。	40代	男性
	総活躍は誰もが働き、納税するという事ではないと思います。働かない選択、例えば夫の活躍を支える、妻の活躍を支えるなどといった活躍方法もあるので、その方々のことも考えていただきたい。そして、そのような方々も活躍を実感できる社会を期待します。	20代	女性
	一億総活躍が本当に必要なのか？という議論から始めてほしい。自立が大切で、国や行政に“環境”を求めすぎているように感じる。	50代	男性
	取り組み手順を明確化していただきたい。どの年代から対応するのか？選挙権のある高齢者からではなく、子どもや女性から対応しないかぎり、改善、変化はないのではと思います。もっと具体的な成果が出せる取り組みを期待しよう。	40代	男性
	ハード面、ソフト面いずれも大きな改革をしないと「絵に描いたモチ」になると思います。	40代	男性
	血圧が高いため、ペットボトルの水は離せませんが、入口で回収されました。中で、水が飲めるよう用意してください。	60代	女性
	日本国憲法を守りなさい。原発を廃止、年金を株運用しない、法人税優遇をやめる、教育費無償、消費税10%UPしない、これで日本の未来は明るくなります。全国4ヶ所の「対話」で国民と対話できた！などと言わないでくださいね。	60代	女性
	地域にいる人たちを見ると、何もしていない人が多すぎる。死ぬまで働く必要はないが、ボランティアを含め、どう地域に役に立つかというステージを多く提供してやらなくてはならない。「活躍」を働く世代にだけ求めてはいけない。仕事をやめてリタイアしても、地域での活躍という選択肢があるのに。生活保護者でもゴミ拾いのような活動の場はある。	60代	男性
	大臣たちが国民の目線で声を聞いてください。	70代以上	女性
このような対話をこれからも続けていき、現状を把握しながら税金の使い道を考える必要があるでしょう。	40代	男性	
第一の矢である「希望を生み出す強い経済」を創り出すために、国土強靱化を強固なものにして頂きたく思います。老朽化した水道管、道路の整備などインフラ整備、リニア新幹線の大阪―東京間の同時開通、北陸新幹線の大阪ルート開業、高速道路のいっそうの整備をお願いします。未来の子どもたちが安心・安全に暮らせるために、今から必要な政府による投資を早急に行うべきです。	40代	女性	

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」（一億総活躍社会実現対話・大阪 アンケート結果）

項目	意見・要望	年齢	性別
その他	人口減少の中、再び日本が成長する上で、全国民がその力に応じて労働参加が求められて、それを支援する施策が「一億総活躍社会」。しかしこれに対して、現役世代を本当に労役し、不法リスト化する個人・法人も存在する。これは貴重な労働力を無駄にするのみならず「総活躍」の国策に反する。良きものは、ほめたたえと同時に、悪きものは明白に罰するのであれば、折角の改革のかけ声も信用されることはない。	50代	男性
	安倍首相は他人をケチリ「自我自賛」が多く不愉快だ。加藤大臣は品が良く、官僚的発言ばかりでつまらない。閣僚はもっと心に響く言論の「適材適所」をお願いします。 大企業の最高益が、なかなか一般に行き渡らない。当たり前の事で、企業は「リスク」を負っているのに、内部留保は必要だ。「国家資本主義」ではないので、賃金・設備投資にまで口出しするのはおかしいのではないのでしょうか。	60代	男性
	以前の三本の矢の反省が示されないまま、新三本の矢が出された現状では、残念ながら信用に足るとは言えません。私はたまたま参加できましたが、一番辛い思いをしている人々はこのイベントへの参加はおろか、知る機会も取れなかったことでしょう。日本の企業の大部分を占める中小企業、それ以上の個人事業主など、本当に対話をするための土台が全く作られていない現状では、“実現対話”と称する本会は、過大広告の評を避けられません。意見を述べられる知識、訓練、時間、金銭の土台を全ての国民に用意することを急を要する課題と考えて頂きたいと思います。	40代	男性
	私は学習塾を経営しております。一億総活躍社会について、地域の方々にはまだ認識・告知が不足しているよう感じます。具体策を周知いただけたら幸いです。	30代	男性
	実行あるのみ。	70代以上	男性
	一億総活躍の実現を期待しています。	70代以上	男性
	子育て、共働き、保育園に通う子ども、高齢者などが楽しく毎日を過ごし、いきいきとした姿を発信することが重要。決して専業主婦は幸せではない。	40代	女性
	ずっと頑張ってきました。成果も出していますがイスがありません。報われることなく結婚も見えず、老後も見えず、怒りが渦巻いています。特に我々の世代は全ての施策から置き去りです。発言の機会すらありません。残念極まりないです。	30代	女性
	声が聞こえない。マイクなどの精度を上げるか、発表者が声を大きくゆっくり話してほしい。前もって伝えておいてほしい。	70代以上	男性
	少子化は私の世代の男女雇用機会均等法がそもそもの原因だと思います。「一億総懺悔」「一億総中流」「一億総活躍」など、多様性の尊重を謳いつつ、全体主義的コンセプトでまとめている。この矛盾に対しても一刻も早く是正していただきたい。	50代	女性
発表者の方々には、既に自身の環境が整っている状況で、活躍されていました。そうでなく、活躍する場がない、仕組みがない環境で苦勞している人の対話も必要では？	30代	男性	
今回の登壇者の話が、政府行政と本当の意味での「現場」「見えづらい実情」との架け橋となり、意義のあるものだったと言えるように、ぜひこの一億総活躍が実現することを願う。	20代	女性	